

特別史跡大坂城跡保存管理計画 (概要版)



平成 25 年 3 月

大 阪 市

特別史跡大坂城跡の特徴と価値

大阪城（江戸時代以前は「大坂城」と表記）は、大坂本願寺に始まり、豊臣期、徳川期を経て、近代、現代に至るまでさまざまな歴史的文化遗产が重層的に存在することが、その大きな特徴のひとつです。とりわけ、本願寺、豊臣期、徳川期に至る変遷は日本史上の重要な一局面を示すものであり、かつ現存する徳川期の石垣を始めとする城郭遺構は近世城郭を代表するものとして、「特別史跡大坂城跡」に指定されています。また櫓等の江戸期の建造物 13 棟の全てが重要文化財に指定されています。このように大坂城跡は史跡の中でも特に価値が高く、我が国の文化の象徴と言える貴重な文化財です。

城郭の特徴としては、まず世界に誇る築城技術をあげることができます。日本有数の規模を誇る大阪城の石垣は、総延長約 12km、総石材数 100 万個ともいわれ、特に花崗岩からなる高さ 30 m もの高石垣の連続は、我が国における築城技術の到達点を示すものとして高く評価されています。建造物は日本最大の多間櫓を始めとして、他所に例を見ない総石造の焰硝蔵や全国の城郭で唯一現存する金蔵など学術上も貴重な遺構で、石垣などとともに往時の壮観を今に伝えています。加えて、本丸等の発掘調査では豊臣期の石垣や徳川期の建物遺構が確認され、地下に良好に保存されているということも特別史跡大坂城跡の価値・特徴と言えます。

近代以降の大阪城は城郭遺構を土台にして日本の重要な軍事拠点となる一方で、市民の城として親しまれ大阪のシンボルとなる天守閣が再建されました。これら近代の歴史遺産は大阪城の所々に遺存しており、近代化を背景に全国的に見ても先駆的な取り組みとして築造された文化遗产として高い価値があります。そして、歴史の重層性を物語るこれらの文化遗产群を包み込む自然環境が創出され、水と緑豊かな都心のオアシスとして大阪城を訪れる多くの人に親しまれています。

歴史的文化遗产が多く残る大阪城



保存管理計画の目的と内容

「特別史跡大坂城跡保存管理計画」は、世界に誇る貴重な文化財である特別史跡大坂城跡の価値を明らかにして、その価値を次の時代に確実に伝えるための保存管理のあり方を定めたものです。さらに大坂城跡の価値を多くの方々に知ってもらい、親しんでもらうために必要な整備活用や、推進体制のあり方を示しています。

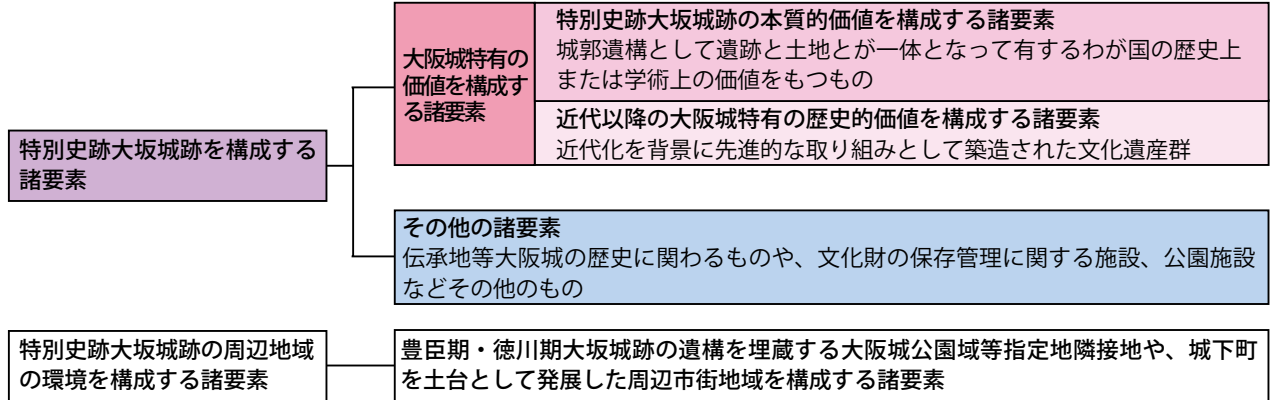
内容は、保存管理の対象となる特別史跡大坂城跡を構成する諸要素を明らかにし、構成要素毎の保存管理の方針や方法を示しています。また、大坂城は広大な敷地を有しているため、土地や利用状況等から地区に区分し、地区毎の保存管理・活用整備の方針を示すとともに、現状変更等の取扱い基準を定めています。

保存・管理の基本方針

1. 日本における築城技術の到達点を示す徳川期大坂城の石垣、堀、歴史的建造物など、特別史跡大坂城跡を構成する本質的価値である現存する城郭遺構を適切かつ確実に保存し、後世へ継承する。
2. 現存する城郭遺構や地下に埋蔵されている大坂本願寺・豊臣期・徳川期の遺構など、特別史跡大坂城跡の本質的価値をさらに明らかにするために、計画的・継続的・総合的な調査研究を行う。
3. 近代以降の大坂城を特徴づける歴史的文化遺産を保存し、徳川期以前の城郭遺構との調和を図りながら後世へ継承する。
4. 特別史跡大坂城跡を構成する諸要素を把握し、場や状況に応じた適切な保存管理方法と現状変更等の取扱い基準を提示する。
5. 発掘調査等各種調査の成果やその成果を反映した保存並びに活用整備の実績を確実に記録保存し、後世へ継承する。
6. 特別史跡としての価値を後世へ継承するための保存管理と、価値を顕在化し、共有するための整備活用の均衡を図り、総合的な価値の向上に努める。
7. 特別史跡、歴史公園としての総合的な保存活用を図るための管理運営体制を構築し、歴史観光の魅力を向上させる。
8. 指定地周辺に遺存する大坂城跡遺構の追加指定等の保存策の検討と、周辺に分布する歴史遺産との連携による城下の総合的な整備・活用を図る。

特別史跡大坂城を構成する諸要素

特別史跡大坂城跡を構成する諸要素は、近世以前の城郭遺構をはじめとして近代化遺産なども含めた大阪城特有の価値を構成する諸要素と、公園施設などその他の諸要素からなります。また特別史跡指定地外にも城郭遺構など大阪城に関わる要素がみられます。



■大阪城特有の価値を構成する諸要素			
要素の区分	特別史跡指定地内		指定地外の大坂城公園（未開設区域含む）を構成する要素
	特別史跡大坂城跡を構成する諸要素		
特別史跡大坂城跡の本質的価値を構成する諸要素	縄張、城郭を構成する石垣・堀等	造成地形、縄張（本丸、二の丸、三の丸、内堀、外堀等） 石垣等：石垣・石塁、雁木、井戸	石垣（蔵曲輪）
	城郭を構成する歴史的建造物	大手門、大手門南方矩折堀、大手門北方堀、多間櫓、千貫櫓、乾櫓、一番櫓、六番櫓、焰硝蔵、金蔵、桜門、金明水井戸屋形（以上重文建造物） 桜門左右堀、青屋門（復元建造物）	
	地下遺構	徳川期：建物跡、石垣・石段（地上遺構埋没部含む）等 豊臣期：城郭遺構（造成地形、石垣、堀、建物跡等）	蔵曲輪（石垣・建物跡等）、定番屋敷跡等 玉造口等馬出し曲輪（堀・石垣）、惣構堀等
近代以降の大阪城特有の歴史的価値を構成する諸要素	大阪城天守閣	大阪城天守閣（登録文化財）	
	近代化遺産	<軍事関連施設> 旧大阪砲兵工廠関連：旧化学分析場、表門と堀、守衛舎、旧第四師団司令部庁舎（旧大阪市立博物館）、防空壕、旧兵器支廠門と堀	旧大阪砲兵工廠関連：水門
		<上水道施設>配水池（配水管等含む）、配水場	
		<庭園>旧紀州御殿付属庭園	
■その他の諸要素			
その他大阪城の歴史に関わるもの	碑等：教育塔		城中焼亡埋骨墳
	伝承地等：蓮如上人袈裟懸けの松、六字名号、櫓樟之止記、櫓樟碑		
大坂城築城以前の遺跡	地下遺構：大坂本願寺・寺内町、難波宮		
文化財保存活用施設等	復元的施設：北仕切門（高麗門） 文化財説明板、蓮如上人袈裟懸けの松覆屋、「豊臣石垣保存用竪坑」見学施設等		文化財説明板
植栽等	サクラ等植栽木、実生木等		
公園施設	園路・広場、修景施設、休養施設、運動施設、教養施設、便益施設、管理施設等		
宗教施設	豊国神社関連施設、生國魂神社御旅所等		
その他	記念碑・供養碑等、タイムカプセル等		顕彰碑等
遺物：石垣石材	刻印石等大坂城の石垣をかつて構成していた石材群		
生き物（自然的要素）	哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類、甲殻類、昆虫類、クモ類		